

第3部 「計画の実現に向けた仕組みづくり・基盤づくり」における平成30年度の取組結果

第1節 ひとを育てる～環境学習・環境教育の推進～

1 学校教育における環境学習・環境教育

1-1 身近な環境問題への取組の推進

県内の幼稚園・小学校・中学校・高等学校および特別支援学校では、豊かな自然環境の中で行うさまざまな体験活動をとおして、自然の大切さを学び、身近な環境問題に関心を持つことができる子どもたちの育成を図っています。また、家庭や地域社会、民間団体との連携を深め、環境保全に関するボランティア活動の紹介やボランティア活動への参加意欲を高める取組を進めています。

(1) 「学校環境デー」の取組

県内の学校・園で、例えば、生徒会が中心となって節電・節水を呼びかけるなど、電気や水を大切にすることを向上させる活動に取り組んでいます。また、「学校環境デー」(6月5日)を中心とした時期に、創意工夫ある活動を行うこととおして環境教育に取り組む意欲を一層高め、主体的によりよい環境を作り、環境に配慮した望ましい行動をとることができる子どもたちの育成を図っています。

(2) 県立学校における環境マネジメントの取組

県立四日市農芸高等学校ではISO14001認証の維持継続を図っており、先進的な環境教育および環境保全活動を実施しています。また、他のすべての県立学校では簡易な「県立学校環境マネジメント」を作成し、平成17(2005)年4月から、環境教育および環境保全活動の充実を図っています。

2 地域や社会における環境学習・環境教育

2-1 環境教育・環境学習の充実

(1) 環境教育・環境学習の推進

三重県では、三重県環境学習情報センターを拠点施設として、環境教育・環境学習を推進するとともに、学校や社会においても、環境教育・環境学習を推進し、環境保全活動の普及・啓発に努めています(表1-1-1)。

表1-1-1 三重県環境学習情報センターにおける環境教育・学習の状況(平成30年度)

区分	内容
センター主催講座	一般向けの講座のほか、地球温暖化対策等の基礎講座や「みえ星空環境案内人養成講座」等の環境学習指導者養成のための講座、工作や自然観察会等の夏休み子ども環境講座等、130講座(3,033人)を開講しました。
出前講座	県内小・中・高等学校等の授業や、公民館、市民活動団体の学習会等への出前講座を176回(7,701人)実施しました。
見学視察体験教室	県内小・中・高等学校等の社会見学の受け入れや環境体験学習を85団体(3,828人)に実施しました。
その他イベント等	子どもたちが楽しみながら環境について学ぶ場として「夏のエコフェア2018」を開催しました(平成30(2018)年度:7月21日・22日開催、来場者数4,718人)。その他市町等が実施する環境フェアなどへの出展を行いました。

(2) こどもエコクラブ活動支援

こどもエコクラブ活動は、子どもたちの将来にわたる環境保全への高い意識を醸成するため、平成7(1995)年6月から環境庁(現 環境省)によりはじめられました。県内でも環境の保全に取り組もうとする子どもが大人と一緒に家庭や地域でこどもエコクラブを結成し、環境に対する理解を深めるための学習・研究活動や美化活動、リサイクル活動などの実践運動に自主的に取り組んでいます。

こどもエコクラブ活動の定着と推進を図るため、各クラブのメンバー・サポーターの交流会や、活動を支える市町担当職員の研修会を開催するなど、こどもエコクラブ活動を支援しています。

平成30(2018)年度の会員数は、62クラブ11,399人となりました。

第1章 分野別取組方針

3 環境学習・環境教育の拠点施設の活用

3-1 三重県環境学習情報センターの充実

県民に開かれた環境教育・環境学習、情報受発信の拠点として各種講座、情報提供、展示等を充実させ、子どもから大人まで幅広く利用できる拠点施設として活用しています。

運営・管理には指定管理者制度を導入し、民間事業者の創意工夫を活用しながら一層効果の高い環境教育・環境学習の実施等を進めています(表1-1-2)。

表1-1-2 三重県環境学習情報センターでの環境教育に関する主な業務内容

<ul style="list-style-type: none"> ・展示コーナーやライブラリーコーナーの整備、活用 ・参加・体験型の環境講座、出前講座、交流事業等の実施 ・地域の活動リーダーや環境学習指導者等の養成 ・ホームページ、情報誌、メールマガジン等を活用した環境教育に係る情報の発信 ・県民、市民活動団体、企業との協働連携
--

3-2 三重県民の森および上野森林公園の活用

森林環境教育や自然とのふれあいの拠点として「三重県民の森」と「三重県上野森林公園」を設置し、県民等の利用者に自然観察会や生物多様性の学びの場として活用いただくほか、身近な憩いの場として利用されています。

3-3 三重県総合博物館(MieMu)の活用

三重県総合博物館(MieMu)では、三重の自然と歴史・文化について、誰もが主体的に学び、交流できる場となることで、環境学習や自然環境の保全のための人材育成支援の役割を果たしています。

平成30(2018)年度は、三重県総合博物館ミュージアム・パートナーの「歴史、民俗、ユニバーサルミュージアム」など5つのグループと共に、探究活動を行いました。また、三重県環境学習情報センターや学校、企業等と連携し、環境学習や環境教育の推進を図りました。

3-4 地域にある環境資源を生かした環境教育施設の整備

(1) 宮川流域エコミュージアムの促進

この事業では、流域案内人として登録されている人びとが、宮川流域が持つさまざまな魅力(自然、歴史、文化、産業、暮らし等)を、地域の人や訪れた人に紹介しています。

平成30(2018)年度は、宮川流域ルネッサンス協議会および「エコミュージアムセンター宮川流域交流館たいき」において、流域案内人が企画するイベントや宮川流域の情報を提供しました。

表1-1-3 宮川流域エコミュージアム関連施設一覧

施設名	HPアドレス	所在地
宮川流域ルネッサンス協議会	http://www.miyarune.jp/	伊勢市
エコミュージアムセンター 宮川流域交流館たいき (平成30年12月28日閉館)		大紀町

(2) ビジターセンターの整備

ビジターセンター(博物展示施設)では、自然公園の地形、地質、動物、植物、歴史等を公園利用者が容易に理解できるよう解説または実物標本、模型、写真、映像、図表などを用いた展示を行っています。

表1-1-4 ビジターセンター一覧表

自然公園名	施設名	所在地
伊勢志摩 国立公園	鳥羽ビジターセンター	鳥羽市
	登茂山ビジターセンター	志摩市
	横山ビジターセンター	志摩市